

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

月見せば、思ひ出でなまし。

Q2. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

旅行せず。

Q3. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

帝、行かせたまふ。

Q4. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

主、家臣に物を取らせたまふ。

Q5. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

春過ぎて夏来せば、衣替へまし。

Q6. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

勉強せね。

Q7. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

仰せらる。

Q8. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

あらせたまへ。

Q9. 次の傍線部「ませ」を識別せよ。

風吹かませば、波立たまし。

Q10. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

試験をせむ。

Q11. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

中宮、御文書かせたまふ。

Q12. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

弟に仕事せさす。

Q13. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

知りせば、来まし。

Q14. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

大臣、馬を走らせたまふ。

Q15. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

解かせたまへ。

Q16. 次の傍線部「し」を識別せよ。

法師、念仏したり。

Q17. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

君、御階を昇らせたまふ。

Q18. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

物言ひせば、答へまし。

Q19. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

旅せじ。

Q20. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

御製を作らせたまふ。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

雨降りせば、止みなまし。

Q22. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

旅装せず。

Q23. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

帝、自ら楽しませたまふ。

Q24. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

知らせねば、答へず。

Q25. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

春来せば、雪解けなまし。

Q26. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

いざせむ。

Q27. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

内裏より召させたまへり。

Q28. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

嘆かせたまふ。

Q29. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

道狭ければ通り難し。

Q30. 次の傍線部「し」を識別せよ。

食事したまふ。

Q31. 次の傍線部「させ」を識別せよ。

御覧ぜさせたまふ。

Q32. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

月見せば、夜更けなまし。

Q33. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

自ら歌詠ませたまふ。

Q34. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

子に水汲ませけり。

Q35. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

旅せじ。

Q36. 次の傍線部「させ」を識別せよ。

母、子を寝させたまふ。

Q37. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

行かせぬ。

Q38. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

知らせたり。

Q39. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

帝、御琴弾かせたまふ。

Q40. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

行せばや。

Q41. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

来せば、よからまし。

Q42. 次の傍線部「すれ」を識別せよ。

仕事すれども疲れず。

Q43. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

御代を治めさせたまふ。

Q44. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

雨止ませたまへ。

Q45. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

思ひせず。

Q46. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

内裏に参らせたまへ。

Q47. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

月見せば、宴催さまし。

Q48. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

帝、宴を催させたまふ。

Q49. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

紙を破らせたまふ。

Q50. 次の傍線部「し」を識別せよ。

仏事したまふ。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

Q51. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

中宮、御文を書かせたまひて、人にも見せさせたまふ。

Q52. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

春来せばと夢に見ゆ。

Q53. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

朝廷、僧を召させたまふ。

Q54. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

嵐、木を倒させけり。

Q55. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

もし春来せば、花咲かまし。

Q56. 次の傍線部「し」を識別せよ。

いと急ぎて旅したまふ。

Q57. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

我れ、笛吹かせじ。

Q58. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

帝、御代を治めさせたまふ。

Q59. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

帝、楽しませたまふ。

Q60. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

庭に雪降らせたまふ。

Q61. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

院、御覧ぜさせたまふ。

Q62. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

もし帰り来せば、よろこびなまし。

Q63. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

嘆かせたまへば、人みな涙す。

Q64. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

殿、いたう驚かせたまふ。

Q65. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

学をせじ。

Q66. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

名にし負はばいざ言問はせむ。(改変)

Q67. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

月光に照らさせたまふ。

Q68. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

いざ立たせたまへ。

Q69. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

主、家臣に書かせたまふ。

Q70. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

帝、御絵を描かせたまふ。

Q71. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

我れ行きせば、君はとどまらまし。

Q72. 次の傍線部「し」を識別せよ。

入内したまふ。

Q73. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

仰せらるるやう。

Q74. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

知らせず。

Q75. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

旅せじと思ふ。

Q76. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

御物の怪に困らせたまへり。

Q77. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

思ふこと言はせず。

Q78. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

殿、御階を上らせたまふ。

Q79. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

風吹きせば、舟漕ぎなまし。

Q80. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

春来せば、花咲かまし。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

中宮、御前の物見させたまふほどに、廂の御簾を上げよと仰せらる。

Q82. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしや、と問はせたまへば、舟人涙を流す。

Q83. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

御琴弾かせたまへば、心ある人みな涙ぐむ。

Q84. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

雪の降りせば、いと心細からまし。

Q85. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

御使ひ、走らせたまふ。

Q86. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

仰せ事承りて、退き出づ。

Q87. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

我れも勉強せじ、と思ひゐたるなり。

Q88. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

帝、御製を作らせたまひて、世に伝へよと仰せらる。

Q89. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

物言はせばや、と心に願ふ。

Q90. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

中宮、ものの怪に苦しませたまふを、加持し奉る僧、夜もすがら祈りまどふ。

Q91. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

よし、わが心をせよ。

Q92. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

仏もせぬ慈悲を、母は子に与ふ。

Q93. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

我れ独り住みせば、寂しからまし。

Q94. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

院、御製作らせたまひしを、世に伝ふべし。

Q95. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

旅にしある人を、慰めさせたまふ。

Q96. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

我れ、人を悲しませじ。

Q97. 次の傍線部「し」を識別せよ。

法皇、御幸したまふ。

Q98. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

春雨に濡らさせたまへるかな。

Q99. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

御物の怪、いみじう祈らせたまへど、なほ離れず。

Q100. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

行く川のながれは絶えせずして、しかも、もとの水にあらず。